

くすりのしおり

内服剤

2025 年 03 月改訂

薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。そのために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。

製品名：ブルキンザカプセル 80mg

主成分：ザヌブルチニブ (Zanubrutinib)

剤形：白色～灰白色不透明のカプセル剤、長さ 22mm、直径 7.6mm

シート記載など：(表) ブルキンザカプセル 80mg、80mg、ZANU80

(裏) ブルキンザカプセル 80mg、Brukinsa Capsules 80mg



この薬の作用と効果について

B 細胞の活性化に関するブルトン型チロシンキナーゼ (BTK) の酵素活性を阻害することにより、悪性 B 細胞の増殖を抑制し、腫瘍の増大を抑制します。

通常、慢性リンパ性白血病（小リンパ球性リンパ腫を含む）、原発性マクログロブリン血症およびリンパ形質細胞リンパ腫の治療に用いられます。

次のような方は注意が必要な場合があります。必ず担当の医師や薬剤師に伝えてください。

- ・以前に薬や食べ物で、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。出血しやすい。手術を控えている、または受けたばかり。感染症にかかっている。帯状疱疹にかかったことがある。心疾患（不整脈など）またはその既往歴がある。間質性肺疾患がある。B 型肝炎ウイルスにかかっている、またはその既往歴がある。高血圧症がある。肝機能障害がある。
- ・妊娠または授乳中
- ・他に薬などを使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、他に使用中の一般用医薬品や食品も含めて注意してください）。

用法・用量（この薬の使い方）

- ・あなたの用法・用量は（：医療担当者記入）
- ・慢性リンパ性白血病（小リンパ球性リンパ腫を含む）：通常、成人は 1 回 2 カプセル（主成分として 160mg）を 1 日 2 回服用します。
原発性マクログロブリン血症及びリンパ形質細胞リンパ腫：通常、成人は 1 回 2 カプセル（主成分として 160mg）を 1 日 2 回服用します。
いずれの場合も、状態により適宜減量されます。必ず指示された服用方法に従ってください。
- ・飲み忘れた場合は気がついた時から次の服用予定時間までの間が 8 時間を超える場合、気がついた時点で 1 回分を服用します。気がついた時から次の服用予定時間までの間が 8 時間以内の場合、飲み忘れ分は服用せず、次の服用予定時間に 1 回分を服用します。2 回分を一度に飲んではいけません。次の日からいつも通りの時間に飲んでください。
- ・誤って多く飲んだ場合は医師または薬剤師に相談してください。
- ・医師の指示なしに、飲むのを止めないでください。

生活上の注意

- ・出血のリスクがあるため、手術を受ける予定のある場合は、医師または薬剤師にご相談ください。
- ・感染症、帯状疱疹があらわれることがありますので、これらの症状があらわれた場合には、医師または薬剤師に連絡してください。
- ・骨髄機能が低下することがありますので、定期的に血液検査を行うことがあります。
- ・不整脈があらわれることがありますので、定期的に心電図検査などの心機能検査を行うことがあります。脈の乱れに気づいた場合には、医師または薬剤師に連絡してください。
- ・間質性肺疾患があらわれることがありますので、胸部画像検査を行うことがあります。
- ・B 型肝炎があらわれることがありますので、肝機能検査や肝炎ウイルス検査を行うことがあります。
- ・妊娠する可能性のある女性や、パートナーが妊娠する可能性がある男性は、この薬を服用している間および服用後 1 週間は適切な避妊をしてください。
- ・セイヨウオトギリソウ（セント・ジョーンズ・ワート）を含有する食品は薬の働きを弱める可能性がありますので、摂取しないよう注意してください。
- ・グレープフルーツに含まれる成分は薬の血中濃度を上げ、副作用が強くあらわれるおそれがあるので、グレープフルーツジュースを避けてください。

この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）

主な副作用として、挫傷、上気道感染、高血圧、下痢、便秘、発疹、点状出血、疲れなどが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。

まれに下記のような症状があらわれ、[]内に示した副作用の初期症状である可能性があります。

このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。

- ・出血がとまりにくい、意識の低下、片側のまひ [出血]

- ・突然の発熱、体がだるい、風邪のような症状〔感染症〕
- ・発熱、疲れやすい、出血傾向〔骨髄抑制〕
- ・動悸、冷汗、脈がとぶ〔不整脈〕
- ・しめ付けられるような胸の痛み、動悸、冷汗が出る〔心臓障害〕
- ・咳、息苦しい、発熱〔間質性肺疾患〕

以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。

保管方法 その他

- ・乳幼児、小児の手の届かないところで、直射日光、高温、湿気を避けて保管してください。
- ・薬が残った場合、保管しないで廃棄してください。廃棄方法がわからない場合は受け取った薬局や医療機関に相談してください。他の人に渡さないでください。

医療担当者記入欄

年 月 日

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、「患者向医薬品ガイド」、医療関係者向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。